

今月のインスタギャラリー

#love mitoyo vol.8

問い合わせ 産業政策課 ☎73-3012

Instagramへ投稿された「ステキな三豊」情報をご紹介します。



kukairiku17さん(豊中町) 滝と聞けば、山の中を分け入って苦労してたどり着くイメージですが、香川県三豊市にある不動の滝は、落差50メートルもあり迫力満点です。不動の滝カントリーパーク内にあり、車ですぐそばまで行けてしまい、見ごたえ十分です。



daiddd3dさん(高瀬町) 昨日、高瀬の爺神山に子どもと一緒に上がってきました。曇天で風景はもう一つでしたが、頂上で面白いオブジェがありました。標高が214メートルであることにちなんで、バレンタインの山だそうです。



nobu81kamatamaさん(財田町) 香川用水記念公園 #今年も記念になりました #出るのが当たり前じゃない #水は大切に #紅葉

■お気に入りのスポット、グルメなど「あなたの三豊」情報を、Instagramに「#lovemitoyo」をつけて投稿してください。

【投稿方法】

- Instagramを利用している人は、
- ①アカウント「mitoyo.honma.mon」をフォロー(※QRコードを読みとってください)
- ②「#lovemitoyo」と場所、コメントをつけて投稿

あなたのとおきの三豊情報をお待ちしています!!



▲「Instagram」はこちらから ▲「ブログ」が新しくなりました!



①地元で収穫されたふれあい市自慢のお米②店内にある手作りコーナー③外の売りに陳列された、朝採れの野菜や果物



▲(左から) 山本ふれあい市の大西英治さん、やましたさちこ、いわしまゆみこ、たくちかよみ、山下幸子さん、岩島由美子さん、田口加代美さん

▶問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040

旬の作物であふれる産地直売所!

山本ふれあい市は、国道377号線沿いにある産地直売所です。山本町、財田町を中心に約180人の農家さんが出荷しており、店頭には季節の野菜やお花が所狭しと並びます。

「その日の朝一番に出荷される新鮮で美味しい農作物が自慢です。高松市や坂出市、愛媛県など遠方から買い物に来てくれる人もいて、リピーターも多いです。店内では手作りカバンの販売やちぎり絵アートの展示も行っています」と話してくれたのは、店長の大西英治さん。中でも、朝晩の寒暖差を生かして地元で栽培されたお米はお客様から高い評価をいただいております、年間約4万5千人が訪れるそうです。

「野菜がとにかく新鮮! 店頭と並ぶ野菜たちを一人でも多くの人にぜひ味わっていただきたい」と話す大西さん。

春にはタケノコやお彼岸用の菊も出荷されます。

四季折々の農作物を楽しむことができる素敵な産地直売所にぜひ足を運んでみてください。

産地直売所「山本ふれあい市」



<営業日> 水・土・日曜日  
4月~9月は午前7時~午後2時30分  
10月~3月は午前8時~午後3時30分  
<問い合わせ> ☎63-4350

産地直歩き Vol.6

地元のいいものたくさん

三豊市青少年健全育成市民会議

令和3年度「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」

絵画・標語の優秀作品

※敬称略



絵画



最優秀



中学校の部 三野津中学校1年 藤岡 結菜



小学校・高学年の部 比地大小学校4年 豊田 望心



小学校・低学年の部 比地小学校1年 三好 想



優秀



中学校の部 和光中学校2年 谷崎 香椛



中学校の部 三野津中学校1年 塩田 深結



小学校・高学年の部 笠田小学校6年 古澤 綴



小学校・高学年の部 大見小学校6年 内田 仁衣子



小学校・低学年の部 上高瀬小学校3年 高木 優名



小学校・低学年の部 財田小学校1年 矢野 日瑞

標語



最優秀

『「こんにちは」 たった一言 それがいい』  
中学校の部 和光中学校2年 田中 大志

『ばんご飯 家族で作ると 五つ星』  
小学校の部 上高野小学校5年 曾川 莉帆



優秀

『いつまでも 家族と話す 無駄話』  
中学校の部 三豊中学校2年 土岐 葵郁

『朝一の 笑顔の挨拶 金メダル』  
中学校の部 豊中学校2年 宇川 沙希

『「おはよう」の 声と笑顔は 比例する』  
小学校の部 麻小学校6年 野崎 大幹

『びようしさん なったらきるね おとうさん』  
小学校の部 松崎小学校1年 尾崎 暖依

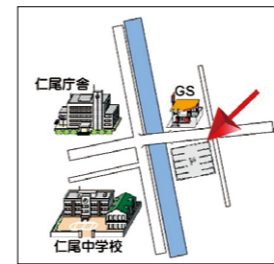
▶問い合わせ 青少年育成センター ☎62-1115

▼問い合わせ 青少年育成センター

☎62-1115



▲除幕式の様子



▲看板設置場所

令和3年8月の台風による強風で仁尾町の健全育成の看板が破損する被害を受けました。そこで、青少年育成センターでは看板を新しくすると同時に標語も時代に合ったものを選び設置しました。  
標語は仁尾小学校5年、今川きららさんの「スマホより家族と「いいね」をかわそうよ」が選ばれました。この標語を思い付いたきっかけは、今川さんが家族で食事に行ったとき、周りを見てみると、せっかく家族みんなが食事に来ているのに、スマホを手に会話がなくて周りの家族の様子を見かけたことです。そこで、スマホより「家族との会話を大切にしたい」「楽しく明るい家族になってほしい」という願いを込めて、この標語を作ったそうです。  
皆さんもこの標語を心に留め、会話を大切に明るく楽しい家庭を築いていってください。

青少年健全育成の日 啓発看板除幕式